

MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン別売 室外機用凍結防止ヒータ 取付説明書

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

取付けの前に

- 本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根氷の抑制対策およびドレン抜穴の氷結による詰り防止を目的としたものです。
- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

⚠注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 取付け完了後、電気配線の接続が確実にされていることを確認するとともに、この取付説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

⚠警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になります。

取付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。

- 部品に不備があると、感電・火災・ユニット落下によるケガ・水漏れ原因になります。

配線は、所定の電線を使用して確実に接続し、端子接続部に電線の外力が伝わらないように確実に固定する。

- 接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

取付けは、この説明書にしたがって確実にこなす。

- 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」・「内線規定」を遵守し、取付説明書にしたがって施工してください。

- 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。

室外ユニットのサービスパネルを確実に取付ける。

- 取付けに不備があると、ほこり、水などにより感電・火災の原因になります。

⚠注意

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には取付けない。

- 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、爆発の原因になることがあります。

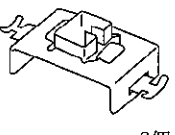
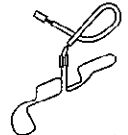
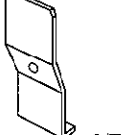


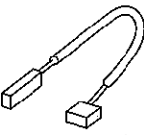
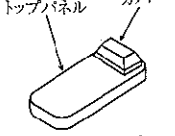
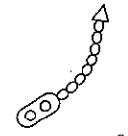
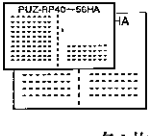
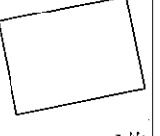
アース工を行なう。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。

電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。

- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。

1. **部品の確認** この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

品番名	①ドレンカバー	②ベースヒータ	③ヒータ固定金具	④ネジ (4×10)	⑤バンド	⑥外気温変センサー
形状	 2個	 1set	 2個	 2本	 4本	 1set
品番名	⑦ベースヒータ制御部本体	⑧ファスナー	⑨配線名板	⑩フィルム		
形状	 1set	 2本	 各1枚	 1枚		

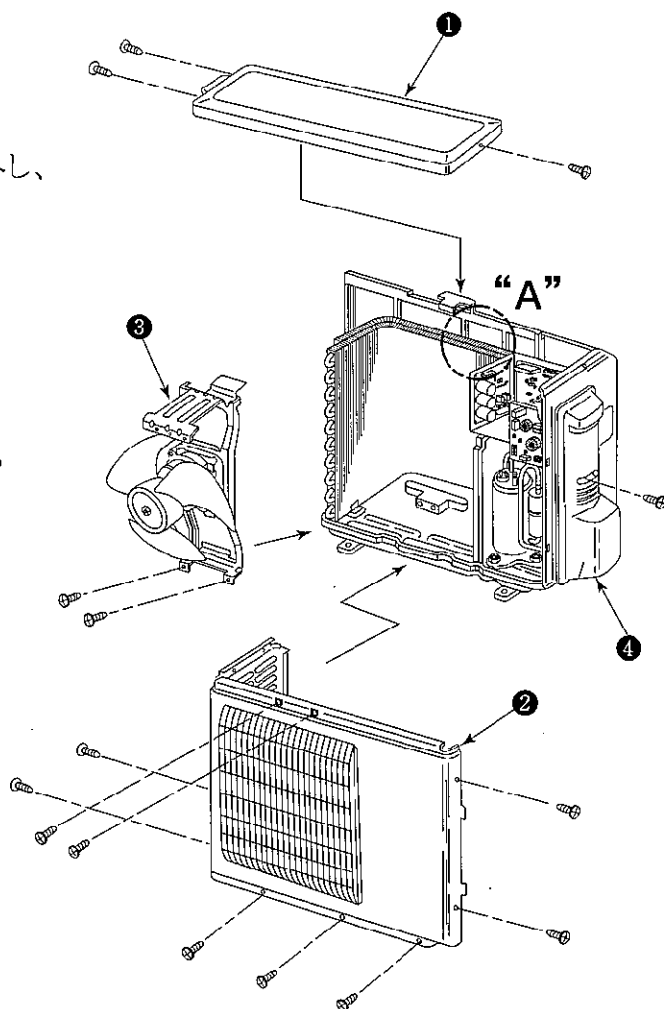
2. **取付準備** ※ベースヒータの組込みは室外ユニットを据付ける前に行なっていただく方が容易にできます。

- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒータ取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を充分に行なってください。
- 熱交換器本体のフィン部に触れながら作業をする場合がありますので、あらかじめ軍手等の保護具を着用してください。

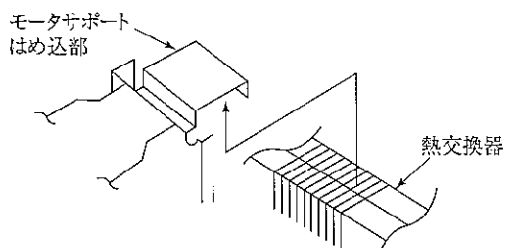
3. **ベースヒータ組込準備**

次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータの組込み準備を行ないます。

- ① トップパネルの取外し
トップパネル取付ネジ(左2本、右1本)を外し、上側に持ち上げて取外してください。
- ② フロントパネルの取外し
フロントパネル取付ネジ(前5本、右2本、左2本)を外し、前側に引き出し取外してください。
- ③ モータサポートの取外し
モータサポート取付ネジ2本を外し、上側に持ち上げ熱交換器上部とのはめ合を外して前側に引出してください。取外したモータサポートには、モータ用リード線が接続されていますので引張りがかからない状態でモータサポートを横置きにしてから次の作業を行ってください。
- ④ サービスパネルの取外し
サービスパネル取付ネジを外し、下側にスライドさせてから取外してください。



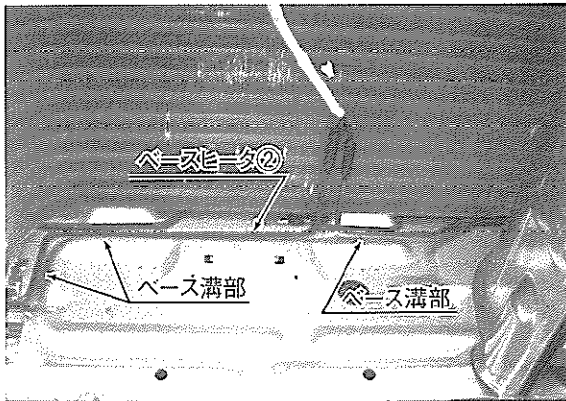
“A部拡大図”



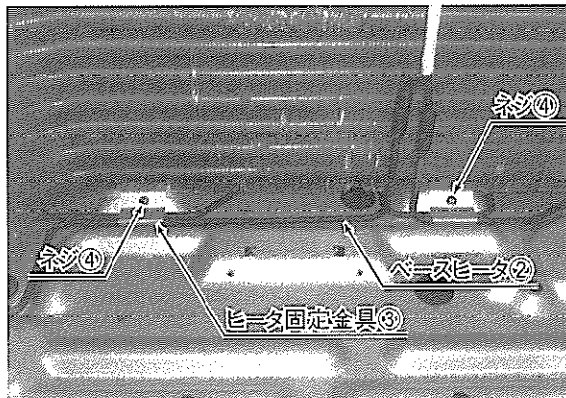
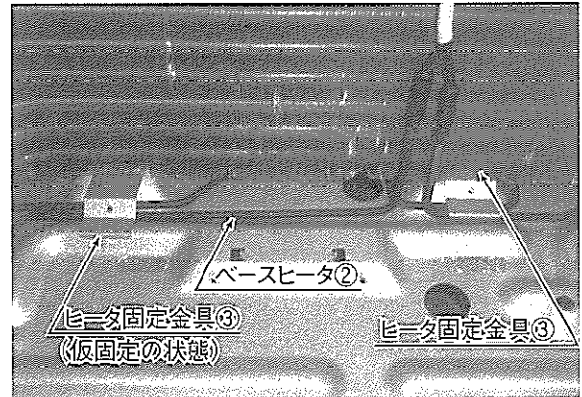
別売形名	適用機種
PAC-SG53BH (200V, 110W)	室外ユニット用 インバーターHシリーズ

4. ベースヒータの取付け

- 熱交換器本体を持ち上げながらベースの溝に沿ってベースヒータ②を下図のように位置決めし、仮置きしてください。(下図参照)



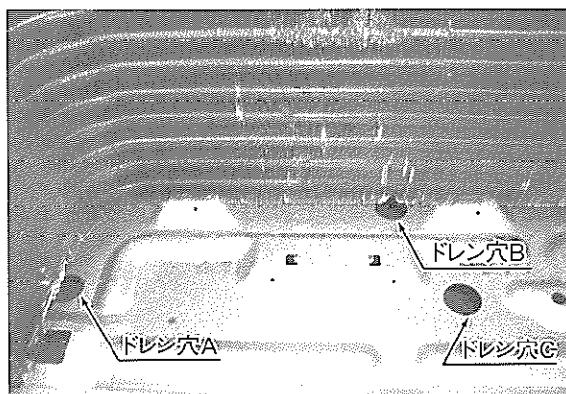
- 再び熱交換器を持ち上げヒータ固定金具③を下図位置に仮固定し、熱交換器の下敷となる様奥に押し、位置決めをしてください。尚、左側は仮固定した状態、右側は熱交換器の下敷となった状態を示します。



- ヒータ固定金具③の穴部に合わせてベース本体の穴開け加工を行います(2ヶ所)。穴開け寸法は $\phi 3.0 \sim \phi 3.1$ 。穴開け後ネジ④を取付け、ヒータ固定用金具を固定します。(左図は取付けた状態を示します。)

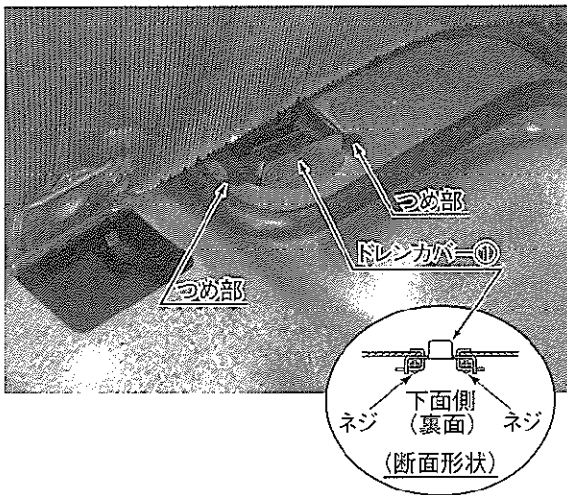
5. ドレンカバーの取付け

室外ユニットを設置した状態でドレン穴から指を入れ、ヒータに触れる恐れがある場合取付けてください。



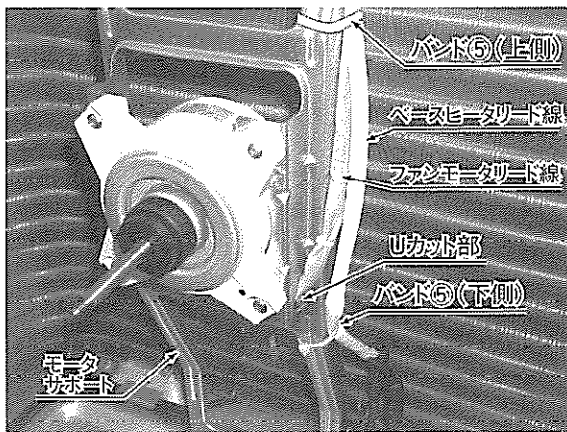
- 3カ所のドレン穴のうち、ドレン穴A、Bについてドレンカバー①を取付けます。(左図参照)





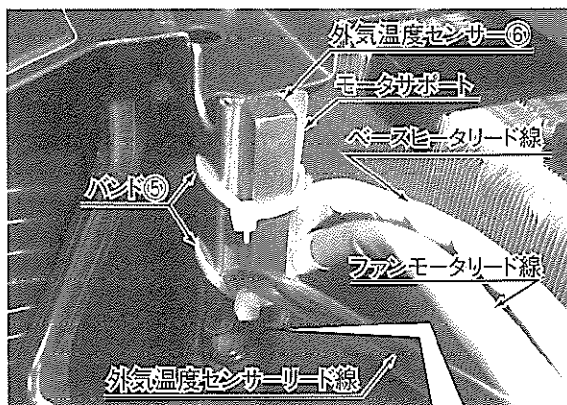
- 次の要領にしたがいドレンカバー①を取付けてください。
 - 1) ドレンカバー①のネジをゆるめて、つめ部が動かせる状態にします。
 - 2) この状態でドレンカバー①を室外ユニット下面側(裏面)よりドレン穴に入れ、つめ部を動かしながら引っ掛けて仮固定します。
 - 3) 室外ユニット下面側(裏面)からドレンカバー①のネジを締め固定します。
 ※ドレン穴Cには取付け不要

6. モーターサポート, ベースヒーターリード線の固定

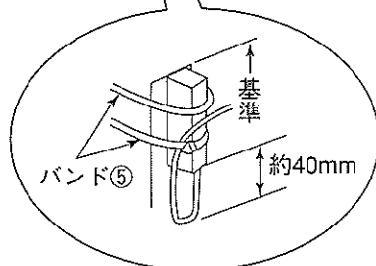


- ベースヒーターリード線をバンド⑤(下側)を使用してモーターサポートの右側に固定してください。尚、ファンモーターリード線はUカット部に必ず通してください。さらに、ファンモーターの右上の個所でファンモーターおよびベースヒーターのリード線をバンド⑤(上側)を使用して固定してください。

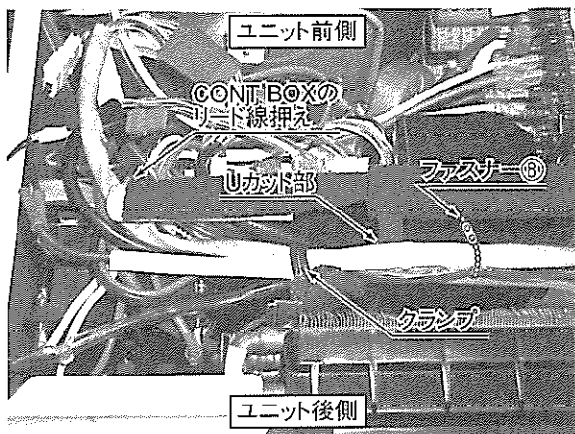
7. 外気温度センサーの取付け



- 外気温度センサー⑥の感知部に貼付けの両面テープ離けい紙をはがし、モーターサポートのフランジ上面を基準に、リード線を下方に向け貼り付けてください。
- 外気温度センサーのリード線を、約40mmの位置でU曲げし、上下2カ所をバンド⑤で固定します。下側のバンドに外気温度センサー⑥、ファンモーター・ベースヒーターの各リード線を固定し、上側は外気温度センサー単体のみを固定します。尚、ファンモーター、ベースヒーターリード線が外気温度センサー⑥の感知部に触れると正確な作動が出来なくなりますので、図の様に両リード線をモーターサポート裏面に沿って固定してください。



8. 各リード線の固定



- 外気温度センサー、ベースヒータ、ファンモータの各リード線をファスナー⑧で束ねた後、Uカット部に各リード線を通し、クランプを介して既設のリード線と一緒に固定します。固定した後、CONT BOXのリード線押えに通し、位置決めをしてください。

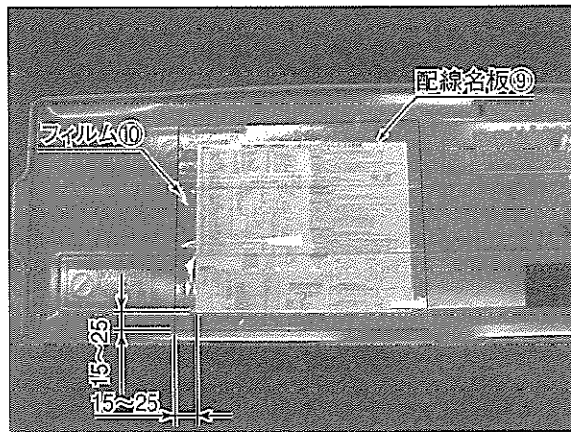
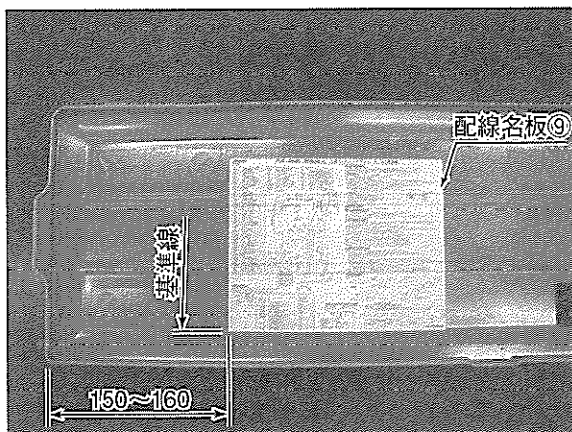
9. 配線名板の貼付け

ベースヒータ制御部本体⑦の裏側面に配線名板⑨を貼付けます。尚、配線名板⑨は取外したトップパネル裏側に貼付けてある名板と同一品(同一形名品)を必ず選んでください。

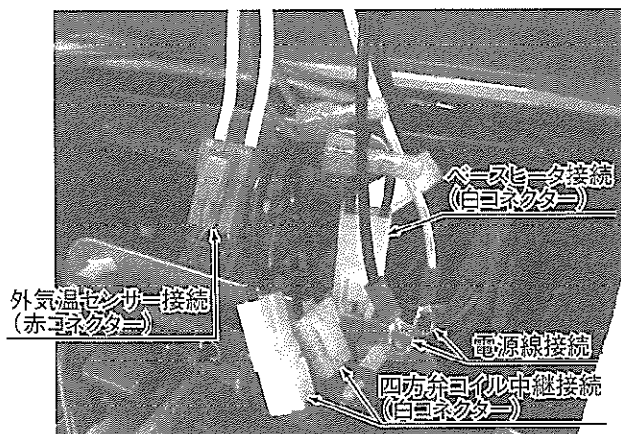
※配線名板⑨上にフィルム⑩を貼付けの際は、その端部にしわが発生しない様、丁寧に貼付けてください。しわ等が発生しますと、その隙間から水が入り込み配線名板⑨、フィルム⑩がはがれやすくなります。

- 配線名板⑨は下図仕様(基準線、寸法値)にしたがい貼付けてください。

- 配線名板⑨を貼付けた後フィルム⑩を重ね貼りします。配線名板⑨の外形各辺15~25位の間隔を保つようにフィルム⑩を貼ってください。



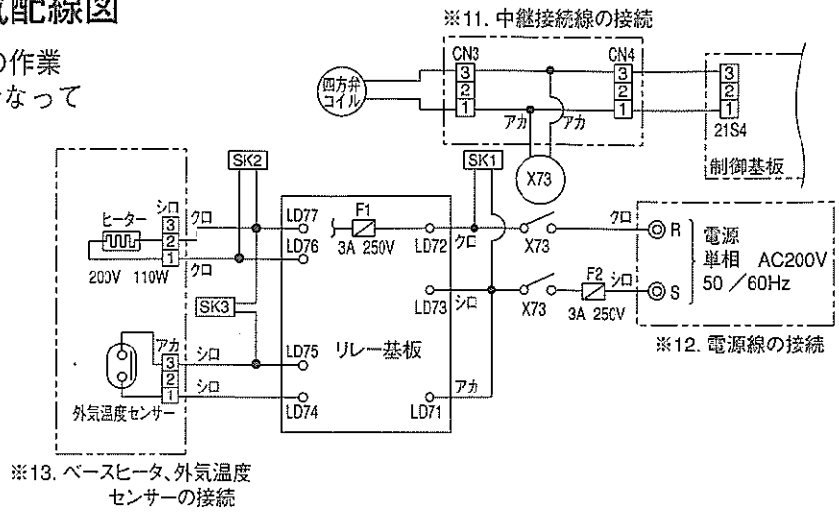
10. ベースヒータ制御部のリード線



- 図はベースヒータ制御部本体⑦を室外機本体に仮置きした状態を示します。各リード線については次の項に従い誤りのないように接続してください。

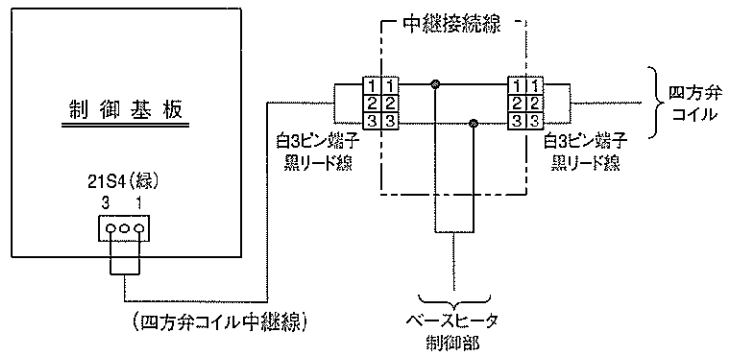
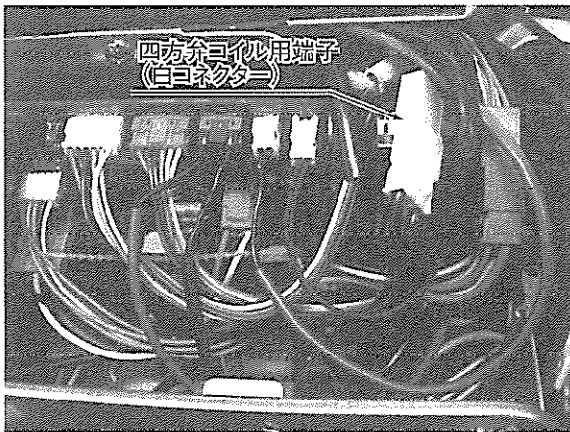
☆PAC-SG53BH 電気配線図

右配線図を参考に11～13の作業
(リード線接続作業)を行なって
ください。

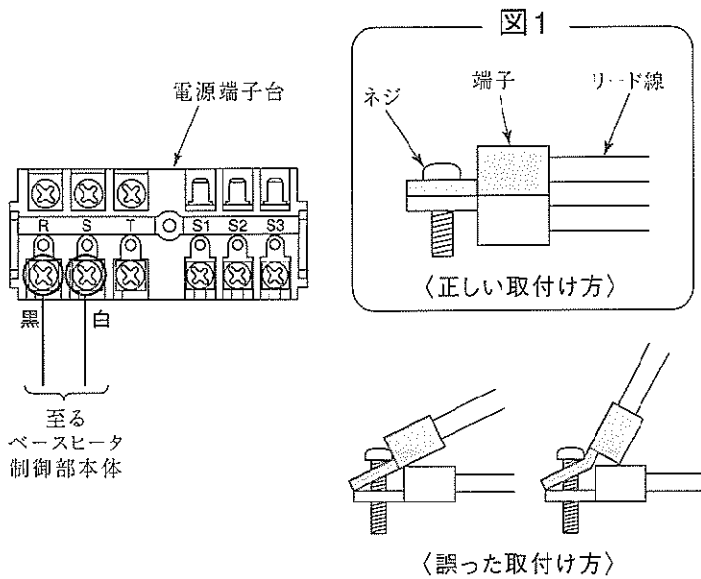


11. 中継接続線の接続

- 次の手順で作業を行ってください。
 - i) 電気品箱内にある四方弁コイルと四方弁コイル中継線の白コネクタを外してください。
尚、両者はそれぞれ白の3ピン端子に黒のリード線が接続されておりますので誤りのないようご注意ください。
 - ii) 四方弁コイル、四方弁コイル中継線、ベースヒータ制御部からのリード線をそれぞれ下記にしたがって接続してください。
※下図については電気品箱内及び回路図を示します。位置関係を把握し誤りのない様にしてください。



12. 電源線の接続



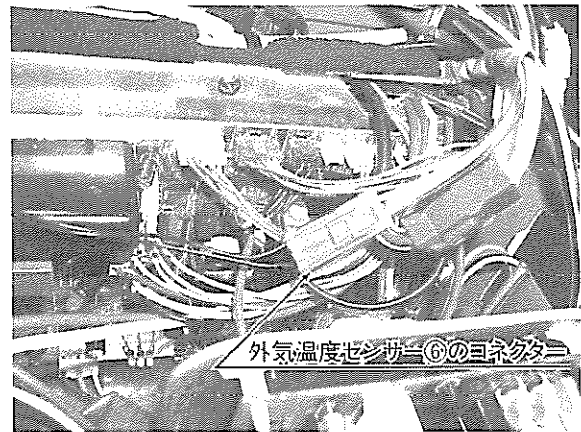
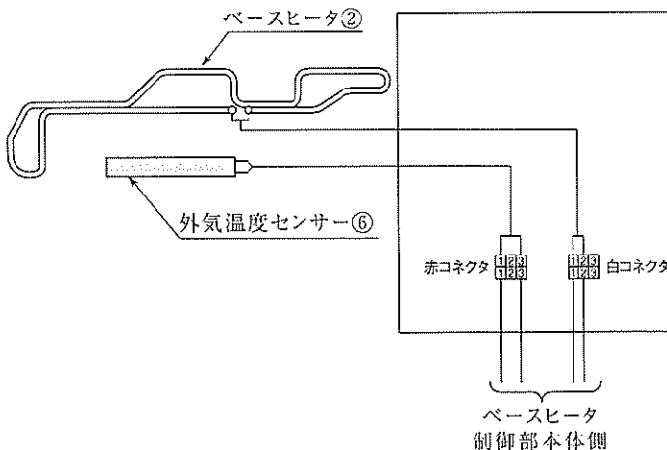
- ベースヒータ制御部リード線からの電源線（黒色、白色）をそれぞれ室外ユニット電源端子台R,S相に現地配線の端子と共締めしてください。
- ※端子の向きは、必ず図のように取付けてください。（図は三相機種の場合を示します）

⚠ 警告

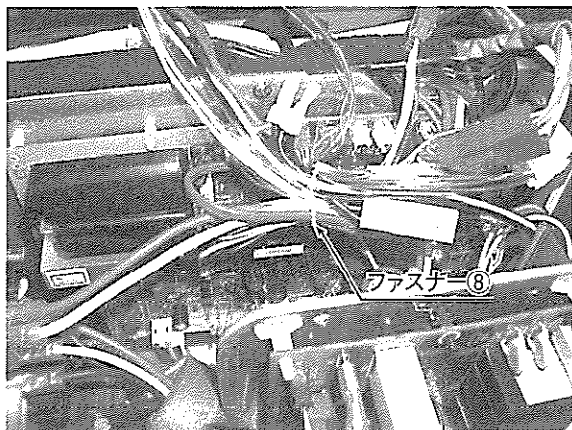
端子の取付けは、緩みのないように確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

13. ベースヒータ、外気温度センサーの接続

- 各製品のリード線端子部の色（ベースヒータ：白、外気温度センサー：赤）とベースヒータ制御部から出る同じ色のリード線端子を電気品箱内で接続してください。尚、右図は外気温度センサーの端子を接続した状態です。



14. 各リード線の固定



- 各リード線の接続後に、ファスナー⑧を使い固定してください。(左図参照)

15. 再組立

- 以上のようにベースヒータの取付及び電気配線の接続が確実に行なわれていることを必ず確認してください。
取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。

⚠ 警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。